



Okayama Prefectural Medical Association

ご挨拶

昭和22年に設置された岡山県医師会は、75年の歴史を持っています。

戦後の日本の医療体制を主導したのは、地域の開業医の先生方たちでした。診療所の先生方が入院設備を持ち有床診療所となり、さらに、20床以上の病床を有する病院へと進化していき、県民のニーズに応えるにたる医療供給体制が出来上がりました。加えて、公立病院、公的病院の整備が進み、医療供給体制が完成しました。

岡山県医師会は、近代医療の黎明期から全国屈指の医療先進県になる過程を全力で支援してきました。

岡山県医師会員数(令和4年8月現在)は3,170人で、かかりつけ医を中心とした開業会員が1,358人、病院などの勤務医1,695人、研修医が117人となっています。岡山県医師会では、これらの会員に最新の医療情報を提供するため、生涯教育講座を開催しています。特に、この2年間は新型コロナウイルス関連の研修会、講演会を多数開催しました。中でも、「見せよう!かかりつけ医の底力 『COVID-19研究会』」はWEB開催でしたが、全国の高名な学者、感染症専門家、行政担当者から貴重なお話を聞かせていただきました。延べ2,500人以上の先生方に参加していただきました。

岡山県医師会の会員は、いったんことがあると団結して課題の解決に当たるポテンシャルを持っています。東日本大震災しかり、西日本豪雨災害しかり、そして新型コロナウイルス感染症でも発熱外来の実施、PCR検査の実施、そしてワクチン接種に、と縦横に活躍していただきました。

岡山県医師会員は私の"宝"です。今後も、誇りをもって医師会活動を推進します。 2022年8月

岡山県医師会会長 松山 正春

The Okayama Prefectural Medical Association, which was established in 1947, has a history of 75 years.

It was local practitioners who took the initiative in creating postwar Japan's medical system. Clinic physicians established facilities for hospitalization, resulting in clinics with beds, which further evolved into hospitals with 20 or more beds to realize a medical delivery system that substantially met the needs of the people of Okayama Prefecture. In addition, upgrades to public hospitals and official hospitals proceeded, and our medical delivery system was completed.

The Okayama Prefectural Medical Association has fully supported the process of Okayama becoming one of the most medically-advanced prefectures in Japan since the early days of modern medicine.

The number of members of the Okayama Prefectural Medical Association is 3,170 (as of August 2022), including 1,358 practitioners, mainly family doctors, 1,695 physicians affiliated with medical institutions, and 117 medical interns. The Okayama Prefectural Medical Association holds lifetime education courses to provide these members with the latest medical information. In particular, over the last two years, the Association has held many novel coronavirus-related workshops and seminars. Among them, a COVID-19 Study Group under the slogan "Let us bring out the real strengths of family doctors!" was held online, where we listened to valuable presentations given by renowned scholars, infectious disease specialists, and government administrative personnel from throughout Japan. A total of 2,500 or more physicians participated.

Members of the Okayama Prefectural Medical Association have the potential to work together to address issues in the event of any contingency. This proved the case with the Great East Japan Earthquake and the disaster caused by heavy rains in western Japan. Even with the novel coronavirus pandemic, members have played an active role in treating outpatients with fevers, PCR testing, and vaccinations.

Members of the Okayama Prefectural Medical Association are my "treasure." I will continue to promote the activities of the Medical Association with pride.

Masaharu Matsuyama Chairperson The Okayama Prefectural Medical Association August, 2022

私たちは医療を通じて 県民の命と健康に貢献します





理念

PHILOSOPHY

岡山県医師会は、医師としての高い倫理観と使命感を持ち、医療活動を通じて県民の健康と福祉に 貢献するとともに医学の向上に資し、人間の尊厳が大切にされる社会を目指します。

The Okayama Prefectural Medical Association maintains a high ethical standard and a great sense of mission as physicians, contributing to the health and welfare of the general public of Okayama Prefecture through medical treatment activities, committed to enhancing medical science and aiming to build a society where human dignity and life is respected.

沿革

HISTORY

1915年に設立された旧岡山県医師会(初代会長・坂田快太郎)が前身。戦後の1947年11月1日、榊原亨を初代会長とし民主主義の理念と運営法の下に新生県医師会として再出発した。発足時の会員は817人。1971年、岡山の医療・保健の拠点である岡山衛生会館完成。戦後70年を経て業務は拡大し、現在会員数は3,170人(2022.8現在)。

The Association is based on the former Okayama Prefectural Medical Association founded in 1915 (the first chairperson was Kaitaro Sakata). After World War II, on November 1, 1947, the Association was reborn as the Okayama Prefectural Medical Association based on the principles of democratic ideals and management methods, with the first chairperson being Toru Sakakibara. At the time of foundation, the Association had a membership of 817. In 1971, OKAYAMA EISEIKAIKAN was completed as the center of medical treatment and health care in Okayama. During the 70 years since World War II, duties diversified and the Association now has a membership of 3,170 (as of August, 2022).

前 史

1915 [大正4年]
前身である旧岡山県医師会設立。
初代会長は坂田快太郎。会員は735人。

新生医師会

1947 [昭和22年] ◆ 11月1日、新生県医師会発足。 初代会長・榊原亨のリーダーシップのもと民主主義の理念に のっとり、機構と運営法を一新してスタート。

県内の郡市医師会は26で会員は817人。

1949 [昭和24年] ◆ 1945 (昭和20) 年6月29日の岡山空襲で岡山市は灰燼となり、 県医師会は焼け残った県庁舎の一部 (岡山市石関町)を仮所と していたが、2代会長・河田大作の熱意で、岡山市天神町の 旧岡山東警察署跡地に木造モルタル2階建ての医師会館が完成。

1971 [昭和46年] ◆ 3月、岡山市古京町に岡山衛生会館完成、県医師会事務局が入局。 岡山成人病センター(現岡山市医師会総合メディカルセンターに移管) などが併設され県民の医療・保健の拠点に。 630人収容の三木記念ホールも完備。

1997 [平成9年] ◆ 11月、県医師会50周年式典開催。

2013 [平成25年] ◆ 4月1日、公益社団法人に認定。

2016 [平成28年] • 2月末に岡山市北区駅元町に建設していた新県医師会館が完成。 3月15日、新県医師会館にて業務開始。

2018 [平成30年] ◆ 1月、県医師会70周年式典開催。



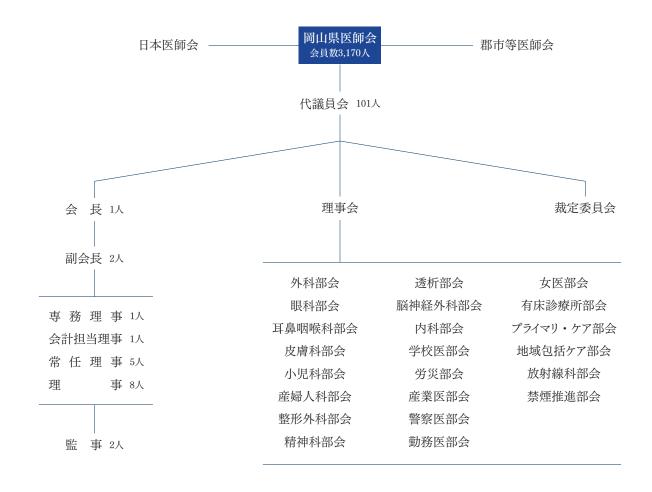
70周年記念集合写真

組織構成

ORGANIZATIONAL STRUCTURE

医師である会員で構成されており、入会は郡市等医師会の会員であることが条件。会員数は開業医、勤務医を合わせ現在3,170人(2022.8現在)。執行部は会長、副会長2人、常任理事7人(専務理事1人、会計担当理事1人を含む)、理事8人で構成。監事2人。理事会の下に各専門部会を置く。

The members of the Association are physicians, and only those who are members of a municipal medical association are permitted to join the Association. Membership currently stands at 3,170 now (as of August, 2022), including practitioners and physicians affiliated with medical institutions. The executive board is made up of one chairperson, two vice chairpersons, seven executive directors (including one managing director and one accounting director) and eight directors. Two auditors are assigned. Technical committees are organized under the board of directors.





岡山の 医療を支える 活動の拠点







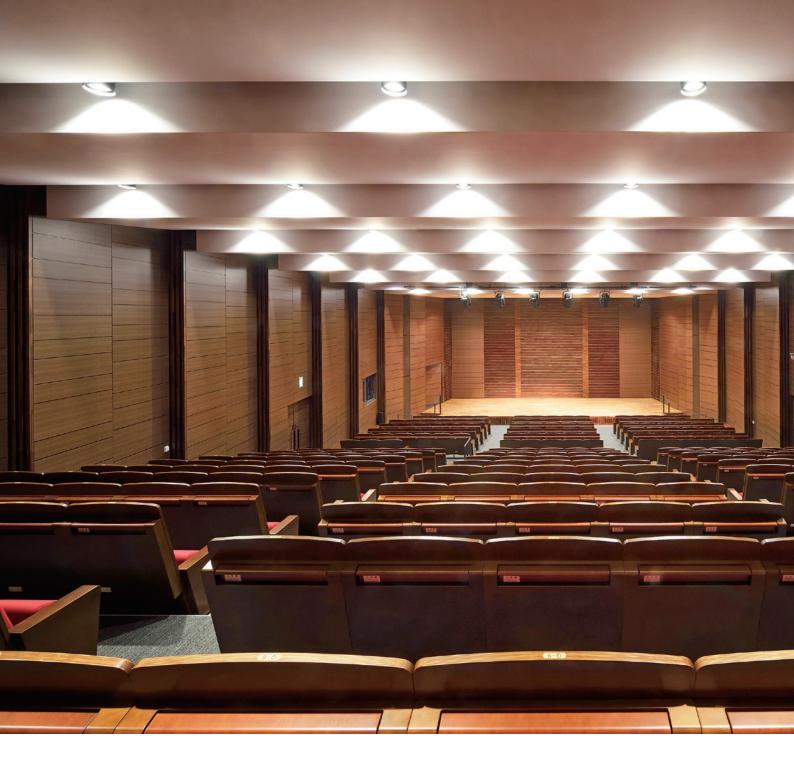
正面玄関(奥)に続くブリッジ



会長室







三木記念ホール MIKI MEMORIAL HALL

303人収容の三木記念ホールは、医療・福祉をはじめとした講演会や集会、シンポジウムなどにご利用いただけます。コンサートグランドピアノ・ヤマハCFIIIS、プロジェクター・スクリーンを備えています。

木のぬくもりを基調とした落ち着いた雰囲気や、背面に収納式の机を備えた座席、足下にゆとりを持たせた作りで、心地よい時間をお過ごしいただけます。

岡山県医師会は、故岡山県知事三木行治氏の業績をたたえ、「財団法人 故岡山県知事三木行治 顕彰会」(昭和39年10月)から建設費の一部負担を受け、旧岡山衛生会館(岡山市中区古京町)内に「三 木記念ホール」と「胸像」を設置するとともに、遺品の展示を行い、維持管理してきました。岡山県医師 会館においてもホールの名称を引き継ぐとともに三木知事の業績、人柄を後生に伝えるべく胸像を移設、 ギャラリーを設けています。





401会議室



402会議室



70周年記念絵画「雨後の山」 (三木記念ホール通路)



三木行治ギャラリー

主な活動

ACTIVITIES

県民を対象にした公開講座(糖尿病、CKD、がん、スポーツ普及)、災害時救急医療事業、国際貢献事業、小児救急医療電話相談、医師の生涯教育など多彩な活動を行っています。2014年9月には超高齢者社会に対応するため、新たに「地域包括ケア部会」を立ち上げました。各地域の医師会が医師や介護など多職種を統合するケアシステムを構築するために行政との交渉などを積極的に支援します。

Our activities are diversified and include educational programs open to the general public of Okayama Prefecture (diabetes, CKD, cancer and promotion of a sport and active lifestyle), emergency medical treatment activities in preparation for natural disasters, international contribution activities, telephone consultations regarding pediatric emergency medical treatment and lifetime education for physicians. In September, 2014, in order to cope with an accelerated graying society, "a sub-committee of community-based integrated care" was newly established. Medical associations at individual communities provide active support in negotiations with administrative bodies for constructing a care system that will integrate various healthcare professionals such as physicians and those involved in nursing care.

】 / 医療情報の提供

県民の健康への意識を高め、病気を防ぐため糖尿病、 CKD、がん、スポーツ普及など広く県民を対象に講座を開催 しています。糖尿病と腎臓病の「県民公開講座」では講演会 のほか相談コーナーを設け、血圧、血糖値などの無料測定 や栄養士による食事相談なども行っています。

2 / 地域包括ケア事業

団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」。医療・介護、保健、福祉、行政など多職種が協働し、住み慣れた地域で生活を支える「地域包括ケアシステム」の構築が急がれます。県医師会では、2014年9月、地域包括ケア部会を立ち上げ、県内の各医師会の活動を積極的に支援しています。

人々の健康のため、 多様な活動をしています。



3 / 移動会長室事業

地域に開かれた医師会を目指し、会長自らが各地に足を運び県民との対話を重ねています。参加者からの意見を県医師会の施策に反映していきます。テーマは「ACP(人生会議)」「フレイル対策運動編・栄養編」「禁煙」「医療のかかり方」の4本柱です。

4 / 生涯教育等会員医師の研修

急速に高度化する医学・医療に対応するため医師は生涯にわたって知識習得とスキルアップを求められます。このため医師を対象に県医師会認定の生涯教育講座、研修・セミナーなどを年間約1,000以上開催し、バックアップしています。

5 / 災害時救急医療

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震で医療支援に 当たったほか、平成30年西日本豪雨災害ではいち早く 「JMAT(日本医師会災害医療チーム)おかやま」を編成、被 災地の倉敷市真備町を中心に多くのチームを派遣しました。 また、南海トラフ大地震に備え、医療救護活動のための訓練 を定期的に行っています。

6 / 専門医部会活動

外科、内科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、小児科、産婦人科、整形外科、精神科、脳神経外科、放射線科、透析医などの各専門医部会では医師のスキルアップを目指し、研修や講演会を行うとともに、診療に係る諸問題を協議しています。学校医、自賠責・労災医、産業医、警察医、勤務医、女医、禁煙、救急医療対策など目的別部会でも、各研修会や講演など活発に活動しています。

7 / 国際貢献事業

ミャンマーの医学生10人が岡山大学病院で研修をするための財政的支援を行いました。学生たちは、3週間にわたり基礎病態演習やグループ討論、医療機器の実践を学びました。こうした活動を通じ同国の医療・介護の発展に寄与しています。

8 社会保障事業

世界に冠たる我が国の国民皆保険を守ることは、医師会の 重要な責務です。この制度を持続可能にするため社会保障 部は、医療保険、介護保険など各制度の調査・研究を行い、 その情報を会員に提供しています。

9 / 岡山県との連携事業

岡山県の医療・福祉行政を担当する県保健福祉部とは緊密に連携し、行政とともに地域医療の在り方を模索しています。 また、2025年問題に向け持続可能な医療供給体制の構築に向けた県の「地域医療構想」策定では県医師会の意向を反映すべく努力しています。







電 車 | JR岡山駅中央改札口から徒歩約3分

車 | 岡山空港から約30分 / 岡山I.Cから約20分

飛行機 | 岡山空港より岡山駅行リムジンバスで約40分(ノンストップ約30分)



公益社団法人

岡山県医師会

Okayama Prefectural Medical Association

〒700-0024 岡山市北区駅元町19-2 TEL 086-250-5111 / FAX 086-251-6622 https://www.okayama.med.or.jp/